

水前寺せり

来歴と現状

昭和61年に熊本市農業協同組合園芸部会水前寺セリ生産部会が発足し、現在に至る。

特徴

自噴する暖かい地下水を利用して栽培されている。
春の七草として知られるセリ科の代表的な食用野菜である。
ビタミン類、ミネラルが豊富である。独特の風味が食欲を増進させる。

産地

熊本画図地区

※入手可能時期及び場所

11月下旬～4月上旬、JAに問い合わせ

問い合わせ先: JA熊本市(096-362-1151)



ばってんなす

来歴と現状

JA熊本うきと種苗メーカーが共同開発したオリジナル品種で、平成12年から作付けされている。

特徴

1果重50～70gの小ナス。糖度が高く、水分が多く、みずみずしいのが特徴。サラダとしても利用できる。

産地

宇城地域

※入手可能時期及び場所

出荷時期：10月中旬～6月中旬、地域内物産館で入手可能

問い合わせ先：JA熊本うき(0964-34-3311)



まこもたけ

来歴と現状

芦北地域で栽培されている。特産化への努力により地域に定着が図られた。

特徴

東アジア原産のイネ科多年草マコモの肥大化した茎を食用にしたもの。
天ぷら、きんぴら等あらゆる料理に対応できる。

産地

芦北地域(水俣市、芦北町、津奈木町)

※入手可能時期及び場所

収穫時期は10月、地元直売所等で販売



大長なす

来歴と現状

昭和50年代から、すいかの後作として導入。連棟のハウスのすいかあとに2月～3月頃定植、3月から12月まで収穫を行う作型で植木町山本を中心に定着している。

特徴

高温で果実の伸びがよく、すいか後のハウスで品質の良い“なす”が生産できる。通常のナスよりかなり長く60～70cmにもなる品種で、筒状の果形をしているためどこを切っても同じ大きさになり使いやすい。果皮はややかたいが、果肉はジューシーで軟らかい。

産地

植木町

※入手可能時期及び場所

周年、地域内直売所、スーパー等で入手可能



菊池水田ごぼう

来歴と現状

昭和40年菊池市大塚の野菜生産組合が麦に代わる作物として導入されたのが始まりとされている(熊本県野菜園芸のあゆみ 熊本県野菜振興協会昭和56年発行から)。

JA菊池ゴボウ部会は、平成20年度熊本県農業コンクール組織部門の秀賞並びに農林水産大臣賞を受賞した。

平成31年3月には、地理的表示(GI)保護制度に登録された。

特徴

軟らかく色の白いゴボウ。洗浄、アク抜きも行っている。

産地

菊池市、合志市、菊陽町、大津町

※入手可能時期及び場所

収穫時期は11月～7月、収穫時期には県内のスーパー、地域内物産館等で入手可能

問い合わせ先:JA菊池北営農センター(0968-24-1141)



ヒゴムラサキ

来歴と現状

県が育成した「赤なす」の優良系統である「ヒゴムラサキ」を地域の特産野菜を目指し導入。

特徴

一般的な「筑陽」等よりも長く太い果実(長さ30cm前後)、果皮色がやや赤紫である。

また、果肉が柔らかく、アクが少なく甘味がある。
ボリューム感に優れ、果肉も柔らかく食味良好。

産地

高森地域、御船町、益城町、芦北地域

※入手可能時期及び場所

基本的には、「熊本赤なす」と同じ品種であり、「熊本赤なす」とあわせると周年熊本市内のスーパー等で入手可能。



塩トマト

来歴と現状

平成3～4年頃より出荷が行われており、「太陽の子」「塩次郎」などとして出荷している。

特徴

八代地方や宇城地方の干拓地でトマト栽培をする中で生まれてきたトマト。
八代地方や宇城地方の干拓地の一部の塩分濃度の高い特別な農地で、高糖度で味の濃い特別なトマトができる。

産地

八代市、宇城市

※入手可能時期及び場所

11月～6月、JAやつしろや八協連、JA熊本うきなどで様々なブランドで販売されている。

地域内の物産館等で入手可能。



サラダたまねぎ

来歴と現状

水俣・芦北地域の「タマネギ」は昭和36年に水田裏作の麦に代わる安定的な作物として10名、80aで栽培が始まった。

昭和43年に栽培面積4.2ha、生産者40名でタマネギ生産部会が発足した。

以来、順調に面積も増加し、現在、面積50ha程度。

特徴

水にさらさず辛みが少ないことから、サラダに適している。「サラたまちゃん」の愛称で売り出し、親しまれている。

環境保全型農業に早くから取り組む。

平成9年からは熊本型有機農産物「有作くん」に認定されたものを東京都との有機農産物出荷協定に基づき出荷。

また、平成9年度第3回全国環境保全型農業推進コンクールでは、農林水産大臣賞を受賞。

産地

水俣市、芦北町、津奈木町

※入手可能時期及び場所

2月～6月 JAあしきた(0966-82-2515)



茎ブロッコリー

来歴と現状

平成14年頃から宇城地域に地域の特産野菜として導入したものが定着、現在は、山鹿市、熊本市に定着している。

12月から3月に出荷する作型。

特徴

長く伸びる茎を食べるブロッコリー。

アスパラガスのように使ったり、煮ても煮くずれしにくく、中華やイタリアンのパスタとの相性も良く、若い女性を中心に人気が出てきた野菜である。

産地

熊本市、山鹿市

※入手可能時期及び場所

出荷時期11月～3月

産地の直売所、スーパー



上津深江すいか

来歴と現状

昭和27年頃から、7月上旬～中旬に出荷する盆すいかとして、天草の苓北町上津深江地区の畑地帯に栽培されてきた。

当初の出荷は船便で長崎市へ、天草五橋開通後は熊本市へ、現在は本渡青果へ出荷。

特徴

緩やかな傾斜があり、日当たりが良く、水はけの良い畑地帯で栽培されるので、糖度が高く、天草地域では絶大な人気を誇る。

産地

苓北町

※入手可能時期及び場所

出荷時期 7月上旬～8月中旬

地元スーパー等

